



2024年北陸新幹線小松駅開業記念特別展

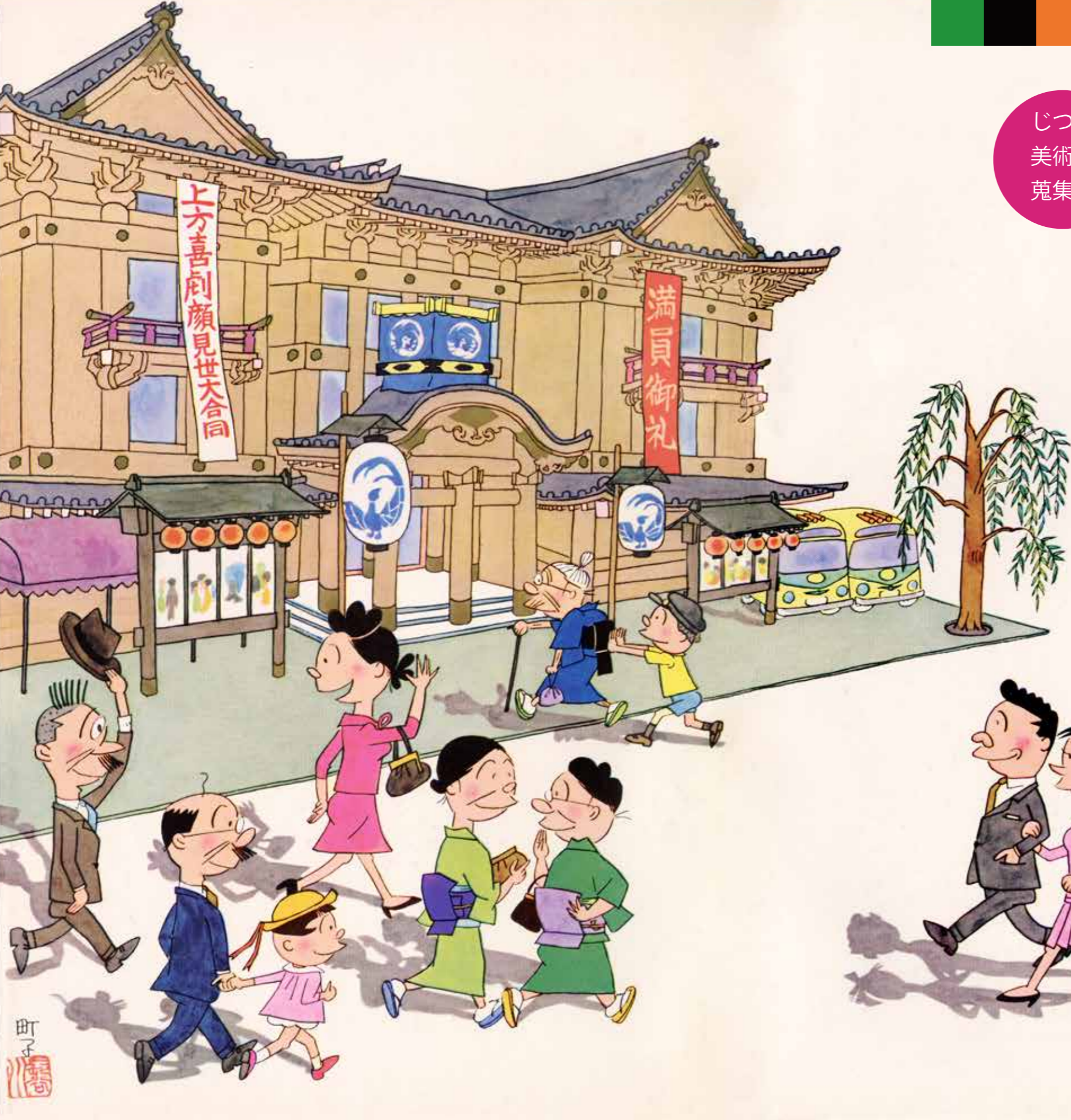
# 長谷川町子が 長谷川町子が やってきた

2024 3/9<sup>土</sup>~5/26<sup>日</sup>

じつは  
美術品  
蒐集家

じつは  
歌舞伎通

女性初の  
漫画家



会場／小松市立本陣記念美術館  
小松市立宮本三郎美術館  
主催／小松市  
協力／長谷川町子美術館  
(株)歌舞伎座

休館日／月曜日(祝日を除く、4/29・5/6開館)、祝日の翌日(3/21・4/30・5/7)  
開館時間／午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)  
入館料／一般500円(こまつミュージアムパス対応)、高校生以下無料  
※小松市内在住65歳以上無料  
※障がい者手帳持参者と同行者1名まで入館料免除(ミライロIDアプリ提示でも適用)

小松市立  
宮本三郎美術館  
〒923-0904 石川県小松市小馬出町5 / 電話: 0761-20-3600



小松市立本陣記念美術館  
Komatsu City Honiin Memorial Art Museum  
〒923-0903 石川県小松市丸の内公園町19 / 電話: 0761-22-3384

# 町子の好きなもの 会場：小松市立宮本三郎美術館

町子さんが姉の毬子さんとともに集めたコレクションの中から、特に芸能にまつわる作品が子供歌舞伎のまち小松へ！



3 美術館にまつわる漫画原画や旅がテーマの漫画原画も紹介！

**原画**  
ユーモアあふれる貴重な漫画原画を紹介

くすっと  
笑みがこぼれます



**蒐集された絵画**  
自然や動物など、町子さんの好きなものが絵の中に！



町子さんが原画や好きなものを紹介してくれたので…  
おかげで、芸能にまつわる宮本三郎作品や、小松の子供歌舞伎をテーマにした絵本原画を紹介します！  
町子さん、見てね。



## 関連イベント

### ●長谷川町子美術館学芸員による解説会

日時：2024年3月20日（水・祝）  
宮本美：11:00～、本陣美 14:00～各1時間程。  
会場：本陣記念美術館、宮本三郎美術館  
講師：橋本野乃子氏（長谷川町子美術館副館長）  
相澤弘子氏（長谷川町子美術館学芸員）  
定員：なし。事前申し込み不要 参加費：入館料

### ●町子さんのまんがが再現！～美術館で山中節を聞きましょう～

日時：2024年4月7日（日）13:30～  
会場：本陣記念美術館、宮本三郎美術館（集合場所 本陣記念美術館）  
唄・演奏：山本会  
定員：30名 ※要申し込み  
申込期間：3月16日（土）～ ※定員になり次第終了します  
申込先：本陣記念美術館 0761-22-3384（月曜日、3月21日は休館です）  
参加費：入館料  
内容：町子さんが石川県の山中温泉に旅行に来た時、部屋に芸妓さんを呼び「山中節」を聞いて感動したエピソードが残っています。美術館で山中節や伝統文化の民謡を聞き、その後2館を鑑賞します。

### ●美術館ウォークラリー

日時：会期中終日  
内容：宮本三郎美術館と本陣記念美術館2館を廻り、隠されたクイズに全問正解するとプレゼント進呈！（先着100名）

### ●スペシャルトーク in 絵本館ホール

日時：2024年4月27日（土）14:00～15:00  
会場：空とこども絵本館夢の本棚、宮本三郎美術館、本陣記念美術館  
講師：五十嵐陽子氏（画家）、尾木沢響子氏（作家・空とこども絵本館館長）  
定員：40名 ※要申し込み  
申込期間：4月6日（土）～ ※定員になり次第終了します。  
申込先：本陣記念美術館 0761-22-3384（月曜日は休館です）  
参加費：入館料  
集合場所：空とこども絵本館夢の本棚（宮本三郎美術館横）  
内容：小松の子供歌舞伎をテーマにした絵本『りょうたのひきやま』の作者を招き、スペシャルトークを行います。

### ●歌舞伎好きのアーティストと芸妓さんと巡るスペシャルゲストツアー

日時：2024年5月3日（金・祝）14:00～  
会場：本陣記念美術館、宮本三郎美術館  
講師：安田淳氏（現代美術家）、幸ぎく氏（西茶屋街芸妓）  
定員：なし。事前申し込み不要。  
参加費：入館料  
集合場所：本陣記念美術館  
内容：実は歌舞伎が好きでアーティスト・安田淳氏とともに楽しく本陣記念美術館を巡ります。宮本三郎美術館では幸ぎく氏にさまざまな話してもらいながら鑑賞します。



サザエさんの作者として知られる長谷川町子は、毎月歌舞伎を観に行く歌舞伎通でした。なかでも9代目市川海老蔵（11代目市川團十郎）とはプライベートでも親交がありました。歌舞伎について、町子ならではの視点で描かれたのが『町子かぶき迷作集』です。小松とのゆかりが深い「勸進帳」や、おなじみの「忠臣蔵」などの原画を本陣記念美術館で紹介。町子ナイズされた楽しい世界と、團十郎とのエピソードなどをあわせて紹介します。また、町子は姉の毬子とともに美術品の蒐集家でもありました。美術・工芸品約800点に及ぶ膨大なコレクションは、東京・長谷川町子美術館で保管され広く公開されています。この度「町子の好きなもの」として、宮本三郎美術館にて歌舞伎や芸能にまつわる厳選された町子コレクションを展示します。町子ワールドを体感していただくとともに、宮本三郎の舞妓を描いた作品や小松の子供歌舞伎にまつわる絵本原画も紹介します。

# 町子のかぶき案内 会場：小松市立本陣記念美術館

レアすぎる原画！



町子さんは歌舞伎のストーリーをパロディにして描いています。主に週刊朝日にて掲載、そして『町子かぶき迷作集』が出版されました。町子さんの原画では珍しくカラーで、優しく美しい色使いが印象的です。



8 9代目市川海老蔵（11代目市川團十郎）さんのエピソードが漫画に…。さあ、どんな話でしょう？！

- 表紙右：《長谷川町子とサザエさん》「日本の顔」『文藝春秋』1972年2月1日号 文藝春秋社提供  
表紙左：長谷川町子「芸術祭参加 十月特別講演 上方喜劇顔見大合同」筋書 表紙より ★  
1：弦田 英太郎《挨拶する舞妓》1994年 ★  
2：川嶋 沙《みなも-清-》2004年 ★  
3：長谷川町子「いじわるばあさん」原画 姉妹社版「いじわるばあさん」6巻27頁 ★  
4：長谷川町子「サザエさん」原画 姉妹社版「サザエさん」30巻52頁 ★  
5：岩橋 英速《紅アジサイ》1980年 ★  
左下：長谷川町子「サザエさん」部分 姉妹社版「サザエさん」48巻75頁 ★  
6：長谷川町子「勸進帳」原画 初出『週刊朝日別冊』1955年12月10日号 朝日新聞社 ★  
7：長谷川町子「ご存じ 忠臣蔵 五段目六段目」原画 初出『週刊朝日』1954年3月1日号 ★  
8：長谷川町子「しゅみと私」原画 部分「サザエさんうちあけ話」1979年 姉妹社 ★  
7・8間：長谷川町子「サザエさん」部分 姉妹社版「サザエさん」68巻59頁 ★  
9：宮本三郎《鼓》1972年 石川県立美術館蔵  
10：五十嵐陽子/画・尾木沢響子/文『りょうたのひきやま』2017年 小松市

★長谷川町子美術館蔵  
©長谷川町子美術館



長谷川町子さん  
と  
長谷川町子美術館

～美術館や記念館のとおりは、「サザエさん通り」に！～

長谷川町子さんは誰もが知る国民的漫画家。大正9（1920）年生まれ。当時日本で爆発的な人気であった「のらくろ」の作者 田河水泡に憧れ弟子入りし、15歳で漫画家デビューしました。その後「サザエさん」や「いじわるばあさん」「エプロンおばさん」等が新聞や週刊誌に掲載されると、大人気となりました。町子さんは姉の毬子さんや妹らと家族経営する出版社である姉妹社を立ち上げていたため、単行本は姉妹社から世に送り出されました。その収益をもとに、画家であった姉とともに美術品を蒐集しはじめます。その数は約800点、皆に公開することを目的に、東京世田谷区にて私設の長谷川町子美術館建設に至りました。一方、繊細な作品が多く、町子さんらは美術品を大切に思っていたため、美術品は貸出せず門外不出でしたが、近年、他の美術館でも展示できるようになりました。2020年7月には、「サザエさんに会えるみんなのための場所」として、長谷川町子記念館が向かいにオープンしています。



- JR小松駅より徒歩15分
- JR小松駅より寺井方面行きバスに乗り、京町下車 徒歩2分
- JR小松駅より市内巡回バス（北コース）に乗り、市役所前下車 徒歩3分
- 小松空港よりJR小松駅行きバスに乗り、昭和通り・西町下車徒歩7分
- 駐車場：乗用車の方は、市役所前・年金事務所駐車場をご利用ください。

小松市立

宮本三郎美術館

〒923-0904 石川県小松市小馬出町5 / 電話：0761-20-3600

小松市立本陣記念美術館

Komatsu City Honjin Memorial Art Museum  
〒923-0903 石川県小松市丸の内公園町19 / 電話：0761-22-3384